# 広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場　TEL（高森局09676）②1111〔代表〕

## 人口

——12月31日現在——

9,047人　男…4,391人　女…4,656人

世帯数…… 2,587

転入 24　出生 12

転出 27　死亡 7

## 河原小学校に天然スケート場

河原小学校（吉弘憲雄校長・二十人）に今年も手づくりの天然スケート場が完成、一月十六日スケートリンク開きをしました。同校は標高七百五十㍍の高地にあり、冬の間、雪や霜で運動場が使えないため、昨年の冬運動場の一角にスケートリンクを作ったところ大成功。今年は縦二十五㍍、横十二㍍と昨年の約二倍の広さに拡張しました。子供たちは早速、父母たちからプレゼントされた白いスケートシューズを履いて初滑りを楽しみましたが、昨冬も専用リンクで鍛えただけあって、上級生はスイスイ。一年生は上級生が手をつないで仲良く滑りました。

## 〃国鉄高森線を利用しましょう〃

第306号
昭和60年2月

### おもな内容


- □ 58年度決算（活力ある町づくりのために）……(2)(3)
- □ 町県民税・所得税、申告は正しく、お早めに……(4)
- □ 10年ぶりに的落とし（恒例の消防出初め式）……(5)
- □ 大人への旅立ち（成人式）……(6)
- □ 中央公民館だより（新成人の意見発表）……(7)
- □ みんなの広場……(9)


### 休日在宅医

診療は午前9時から午後5時まで

| | | |
|---|---|---|
| 2月10日 | ㊡馬原医院 | ②0646 |
| 2月11日 | ㊡東医院 | ②0309 |
| 2月17日 | ㊡寺崎医院 | ②0378 |
| 2月24日 | ㊡立野病院 | ⑧0111 |
| 3月3日 | ㊡渡辺医院 | ⑦1777 |
| 3月10日 | ㊡後藤医院 | ⑦0019 |

火事・救急車は☎119へ



# 町民文芸

## 肥後狂句（阿蘇御神火会）

牛女房　暖簾支えて半世紀
指　牛の値段な袖の下
泣きどころ　雨ッ降る如つヨナッ降る
楽隠居　㊊五つ隠しとる
男は辛いよ　辞令通りィ泳がにゃん
泣きどころ　寄附こぎるなら票の減る
指　からませたつァ夢だった
楽隠居　死んだ媽ァとしたかった
指　シュート・カーブもひねり出す
もう直ぐ　カルデラ走るレールバス

## 俳句

縁起良し第一着の初詣　白石　政憲
初句会集まる友の衿の雪　阿部タツエ
庭先の山茶花一輪耐え残り　森　正六
小さき手で泥の交りし雪だるま　後藤やよい
元朝の心新に日の出待つ　後藤　固
初詣願い幾つもくりかえし　後藤　チエ
寒々となお寒々と朝の月　森　政隆
健康は若湯にありて粥にあり　本田　訓子
師走かな配達人の声せわし　後藤　法龍
風花や着れるだけ着て畑を鋤く　後藤　春嵐
南天の赤味募はし今朝の春　熊谷　紫雲
しみじみと生きる幸せ老の春　松野　笑声
初日の出めでたき宿世すごしけり　林田　一声
新築の香りにほひて初句会　篠田　凡才
猫の恋垣根でゆるす老婆かな　石田　詩朗
初句座や不参の友に思ひまた　林　不忘
暖かき言葉書き添え賀状　岡本　琴司
かへりみる過ぎ来し月日初鏡　田上黙公子
山と積む初荷に出合ふ峠道　馬原　馬笑
鍬とりて春の匂ひを確かめり　山村　不覚
初暦夢を託して部屋の中　浦塚　南天

## おめでた おくやみ

S59.12.1～12.31　受付

### 【出　生】

| （住所） | （保護者） | （出生児） | （性別） | （出生年月日） |
|---|---|---|---|---|
| 羽根 | 智二 | 宏男 | 男女 | 59.11.20 |
| 赤旭 | 田石 | 雄男 | 〃 | 11.25 |
| 幸旭 | 多喜 | 幸信 | 〃 | 12.3 |
| 上昭 | 藤塚 | 広政 | 〃 | 12.4 |
| 津大 | 飯野 | 政研 | 〃 | 12.5 |
| 通子 | 島田 | 弘誠 | 〃 | 12.5 |
| 留和 | 木石 | 新一 | 〃 | 12.8 |
| 村神 | 本高 | 実司 | 〃 | 12.12 |
| 通在 | 白津 | 二隆 | 女 | 12.13 |
| 野野 | 留田 | 己 | 〃 | 12.15 |
| 多永 | 免甲 | 五 | 〃 | 12.19 |

### 【死　亡】

| （住所） | （遺　族） | （続柄） | （死亡者） | （年齢） | （死亡年月日） |
|---|---|---|---|---|---|
| 高尾野 | 本田　正長 | 父 | 本田　正照 | 86 | 59.12.11 |
| 社　倉 | 阿南　武勝 | 養父 | 阿南今朝時 | 87 | 12.12 |
| 大切畑 | 工藤　光高 | 母 | 工藤トシノ | 86 | 12.14 |
| 旭　通 | 橋本シズ子 | 夫 | 橋本　義則 | 70 | 12.14 |
| 村　山 | 池田　正 | 母 | 池田　ツマ | 85 | 12.26 |
| 河　地 | 馬原　一喜 | 妻 | 馬原テルヨ | 62 | 12.25 |
| 大　村 | 宇藤チヤ子 | 夫 | 宇藤　與次 | 71 | 12.31 |

### 【結　婚】

| （氏　名） | （住　所） | （婚姻届年月日） |
|---|---|---|
| 吉村　友秀 | 高森町下切 | S59.12.9 |
| （夫妻）（甲斐）京子 | 高尾野町下牧 | |
| 安方　光也 | 色見中園 | 12.11 |
| （夫妻）（尾方）文子 | 阿蘇郡蘇陽町 | |
| 三森　次男 | 高森冬野 | 12.11 |
| （夫妻）（高木）美智代 | 菊池郡菊陽町 | |
| 本田　昌則 | 高森旭通 | 12.28 |
| （夫妻）（本田）ふゆ子 | 上色見洗川 | |

## （ご）（寄）（付）

ありがとうございました

◎町社会福祉協議会

△香典返し▽

▽矢津田・高尾野の本田正長さん（父、正照さん・86歳死去）から

▽下切・大切畑の工藤光高さんから（母、トシノさん・86歳死去）

▽上色見・大村の宇藤チヤ子さんから（夫、與次さん・71歳死去）

▽野尻・河地の馬原一喜さんから（妻、テルヨさん・62歳死去）

▽高森・下町の森野スミ子さんから（長男、哲司さん・37歳死去）

▽草部・社倉の阿南武勝さんから（養父、今朝時さん・87歳死去）

▽高森・天神の中村澄さんから（夫、喜之輔さん、64歳死去）

△一般寄付▽

▽色見・井上の岩下まきさんから病気見舞の返礼にかえて

◎老人クラブ

▽草部・社倉の阿南武勝さんから「福寿会」へ

▽上色見・大村の宇藤チヤ子さんから「根子岳会」へ

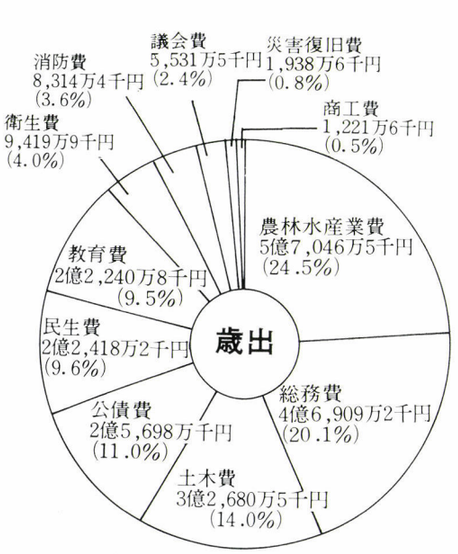
▽高森・上在の野尻昭光さんから「城山会」「城山会ゲートボール部」へ

# 町づくりのために

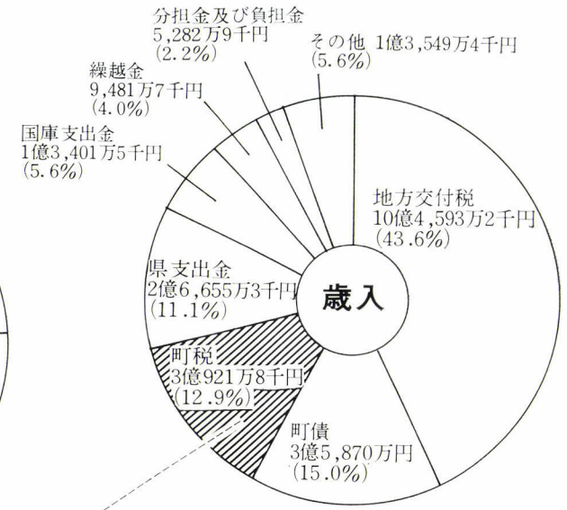
# 3,400万円

五十八年度の〝わが町の家計簿〟はどうなっているでしょうか。十二月定例町議会で、一般会計のほか、四つの特別会計の歳入歳出決算が認定されました。国、地方とも厳しい財政環境の中にあって、本町は農林業基盤の整備、商工業の振興、教育施設の整備充実、道路網の整備など「活力ある町づくり」をめざしています。皆さんが納めた税金や、国からの地方交付税、国や県からの補助金がどのくらい入り、どのように使われたのか、町の財政の概要をお知らせします。

## 歳出総額23億3,419万3千円



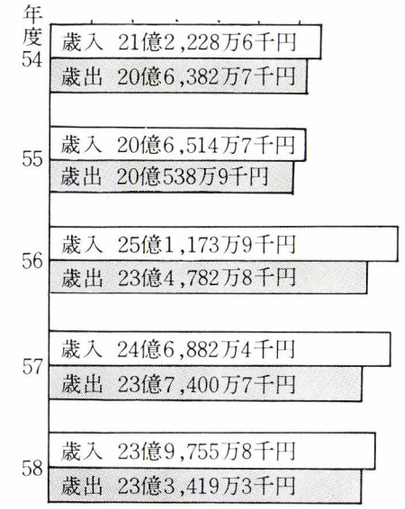

## 歳入総額23億9,755万8千円




### 町税の内訳

| | |
|---|---|
| 町民税 | 1億3,713万6千円(44.4%) |
| 固定資産税 | 1億1,443万6千円(37.0%) |
| たばこ消費税 | 3,398万8千円(11.0%) |
| 電気税 | 1,662万4千円( 5.4%) |
| 軽自動車税 | 538万1千円( 1.7%) |
| 木材引取税 | 165万3千円( 0.5%) |

## 決算の推移




### 1世帯当たりの納税額

昭和59年3月31日現在2,579世帯

| | |
|---|---|
| 町民税 | 53,173円 |
| 固定資産税 | 44,372円 |
| たばこ消費税 | 13,178円 |
| 電気税 | 6,446円 |
| 軽自動車税 | 2,086円 |
| 木材引取税 | 641円 |



# みんなの広場

## 本町農業の発展を祈って

中・祭場　矢津田　貢

時代の変化といえばそれまでですが、これが農業後継者問題につながるともなれば極めて重大という外ありません。四二%を占める農家が町の発展に影響を与えることも確かだと思います。一部には農業離れされる傾向もあるように伺います。誠に寂しい限りです。特別な家庭の事情の外は、底力を発揮して目前の障害を克服し、将来に向っての信念と努力の心構えが大切かと思います。

農家にとって最も目前の問題は何でしょうか。私は農業後継者問題が、最優先ではないかと思います。後継者の嫁対策は最初に挙げられるものでしょう。恐縮ですが私案を申しあげます。

まず農業振興後継者後援会を構成し、青年団、婦人会、各種団体などの会合の際、町の農業を考える時間を設け討議をしていただきます。まとまった問題について町当局や農協の指導と協力、また広く町民の判断と協力を求め、一歩でも前進するよう逐次実現化に努めることが必要と存じます。すなわち町民全体の知恵を結集して農業発展と後継者対策に役立てるのです。

## 清掃奉仕ありがとう

草部吉見神社総代一同

私たち吉見神社総代は、新年を迎えるために、毎年神社の清掃や門松の準備を行っています。昨年も、寒い風がふく十二月三十日、それぞれの分担に従って仕事をしていると、ホーキを手に石段の掃除をしている五、六人の子供さんを見かけたのです。早速名前を訪ねてみると草部中学校の生徒さんということでした。

学校の指示でもなく、親の指示でもなく、自分たちの発意でお手伝いいただいたことに深く感謝いたします。寒い中本当にありがとうございました。

### 係からのお願い

「みんなの広場」では、皆さんからの投稿をお待ちしています。身近かな話題やできごとなどをお寄せください。あて先は、役場企画課広報統計係です。紙上だけ匿名扱いできます。

## 赤い羽根共同募金

# 目標上回る実績

高森町社会福祉協議会では、例年にならい、昨年十月から年末まで、共同募金と歳末助け合い運動を展開しましたところ、皆さんから多大のご援助をいただきました。厚くお礼申し上げます。

共同募金は目標額九十二万九千八百円を三三・二%上回る百二十三万八千七百三十六円の実績を上げることができました。町社会福祉協議会では、この共同募金の配分金と、皆さんの善意で集まった寄付金を合わせ、町内の恵まれない人々や寝たきり老人、長期療養の障害者などに毛布や、見舞金を送りました。共同募金と歳末助け合いの実績は次のとおりです。

### 共同募金実績内訳

| | |
|---|---|
| 戸別募金 | 1,159,624円 |
| 街頭募金 | 79,112円 |
| 計 | 1,238,736円 |

### 歳末助け合い実績内訳

| | |
|---|---|
| 低所得世帯見舞（133戸） | 399,000円 |
| 寝たきり老人見舞（93人） | 279,000円 |
| 長期入院障害者見舞（181人） | 543,000円 |
| 計 | 1,221,000円 |

## 新入学児童全員にカサ

町社会福祉協議会

町社会福祉協議会（会長・瀬井町長）では、事業の一つとして今年小学校に入学する児童百二十人全員に黄色のカサを贈ることにしました。

今年からスタートしたこの事業は、子供たちに、福祉に対する理解を深めてもらうために、社会福祉協議会の活動の一部として計画したものです。

贈られるカサは、あざやかな黄色で、柄のところにあるボタンを押すと開くワンタッチ式、目立つ色だけに交通安全にも一役買いそうです。すでに業者に発注しており、入学式当日ひとりひとりに配られる予定です。

# 活力ある 58年度 決算 23億

## 主な事業

＝総　務＝
- ○町有林の新植、下刈りなど……905万円
- ○色見地区の地籍調査……1,135万円
- ○交通安全施設の整備……465万円

＝民　生＝
- ○清掃事業負担金（高森町外三ヵ村清掃組合）……1,014万円
- ○老人福祉事業……3,718万円

＝農林水産＝
- ○老朽ため池改修（防が平、内山）……1,800万円
- ○農道管理助成（味鳥地区ほか9地区）……4,364万円
- ○飼料生産効率化事業（前原あか牛生産組合）……1,550万円
- ○山村広場造成……1億2,600万円

＝土　木＝
- ○社倉一蔵地線舗装、413m……1,640万円
- ○片山一蔵地線舗装、396m……1,070万円
- ○味鳥一多々野線舗装、366m……1,011万円
- ○黒岩一大戸ノ口線舗装 500m……1,000万円

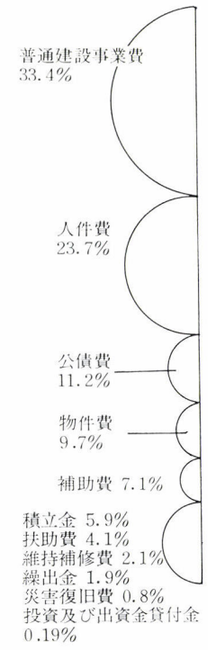
＝消　防＝
- ○8分団1部に消防ポンプ車……360万円
- ○4分団2部にポンプ積載車……220万円

＝教　育＝
- ○小学校整備（野尻小ほか3校）……531万円
- ○中学校整備（高森中ほか2校）……550万円

## 町有財産

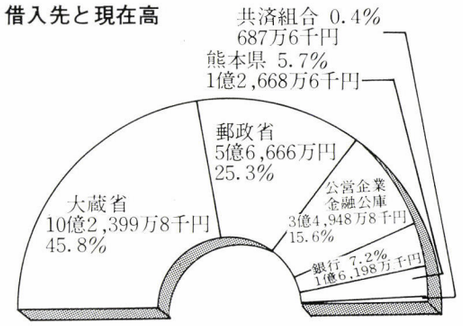
| | |
|---|---|
| 建　物 | 45,089㎡ |
| 学　校 | 22,151㎡ |
| 公営住宅 | 8,013㎡ |
| 庁　舎 | 3,846㎡ |
| その他 | 11,079㎡ |
| 土　地 | 11,297,310㎡ |
| 山　林 | 5,191,400㎡ |
| 原　野 | 5,731,900㎡ |
| 学　校 | 178,099㎡ |
| 公営住宅 | 36,448㎡ |
| 公　園 | 18,670㎡ |
| 庁　舎 | 12,425㎡ |
| その他 | 128,368㎡ |
| 立　木 | 81,711㎥ |
| 有価証券 | 2,782,000円 |

## 性質別歳出の内訳




## 地方債の状況

借入先と現在高




総額22億3,568万9千円

## 特別会計決算

**国民健康保険**
- 歳入……5億9,173万千円
- 歳出……5億4,944万千円

**簡易水道**
- 歳入……1億188万8千円
- 歳出……9,894万6千円

**住宅新築資金等**
- 歳入……576万3千円
- 歳出……574万5千円

**老人保健**
- 歳入……4億4,087万6千円
- 歳出……4億3,257万円



# お知らせのページ

## 支給の請求は六カ月以内に

### 零歳児医療費

零歳児医療費補助の支給対象者と申請の期限が次のとおり変っています。

**○支給対象**　本町の住民基本台帳に登録されている零歳児と、外国人登録法により、本町に登録されている外国人零歳児

**○申請の期限**　医療機関（病院、医院など）で診療を受けた日の翌日から六カ月。ただし、養育医療費自己負担金については一年（養育医療＝未熟児の養育に必要な医療）

**○申請の方法**　医療機関から受け取った領収証と印鑑を持参して、町民課保健衛生係へおいでください。

## 住宅金融公庫の融資受付け開始

住宅金融公庫では、マイホーム建設資金と建売住宅購入資金の借入申し込みを、次のとおり受付けます。

**◆受付期間**　二月二十六日まで

**◆選考方法**　受付順、無抽選

**◆限度額と年利率**　木造で建築した場合
- ▽百十平方㍍以下　五百万円（五・五㌫、十一年以降七・二㌫）
- ▽百三十五平方㍍以下　五百六十万円（六・五㌫　十一年以降七・二㌫）
- ▽百六十五平方㍍以下　六百二十万円（七・二㌫）

六十五歳以上の老人同居の場合、融資額が増額されることがあります

**◆返済期間**　木造＝二十五年以内、簡易耐火＝三十年以内

**◆問い合わせ先**　住宅金融公庫熊本支所（☎096―324―2121）または、お近くの公庫業務取扱金融機関

### 今月の支払日

5日(火)　15日(金)　25日(月)

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時まで。

## 非補助土地改良資金のご利用を

ほ場や農道の整備、農地の造成、かんがい・排水などの事業を行うとき、国や県の補助の対象にならない事業については、長期で低利の非補助土地改良資金を借り入れることができます。

**□対象**　農業を営む個人、農協、土地改良区

**□借り入れ限度額**　五百万円以下の場合は一〇〇㌫、五百万円を超える場合はその額の八〇㌫までの額

**□利率**　年利三・五㌫

**□返済期間**　十年の据置期間を含めて二十五年以内（百万円借り入れた場合の償還例＝五回年賦の場合年額二十二万千四百八十一円、十回年賦の場合年額十二万二百四十一円）

**□問い合わせ先**　役場産業観光課農地係（☎②―1111内線60）か農協金融課

## 研修生を募集

### 県立農大附属畜産高等研修所

県立農業大学校附属畜産高等研修所では、次の要領で研修生を募集します。

**◎募集人員**　本科生三十人

**◎研修期間**　一年

**◎入所資格**　高等学校卒業以上の学力を有する十八歳以上二十五歳未満の男女

**◎受付期間**　二月十五日から三月十五日まで

**◎試験日**　三月十九日

**◎試験場所**　県福祉会館

**◎試験科目**　作文、面接

**◎特典**　人工受精士、農業機械技能士、大型特殊、けん引運転免許の特別指導

**◎問い合わせ先**　阿蘇町西湯浦1454　県立農業大学校附属畜産高等研修所（☎0967―3―②1231）

## 危険物取扱者保安講習を実施

五十九年度危険物取扱者保安講習が次のとおり実施されますので、受講対象者はもれなく受講してください。

**◇受講対象者**　危険物の取扱いに従事していて、免状交付日、または再講習の受講日が、五十六年二月以前の人、および受講を希望する人

**◇講習の期日、場所**　▽二月二十五日　県庁地下大会議室　▽三月十二日　県庁地下大会議室　▽三月二十二日　菊池市文化会館

**◇講習時間**　午前十時から午後四時まで

**◇問い合わせ先**　阿蘇広域消防組合南部分署（☎2―9034）

## 木材共販市況

1／28日市況　高森町森林組合

| スギ 長さ | 径級 | 安値 | 高値 |
|---|---|---|---|
| 4m | 7～13㎝ | 11,000 | 21,500 |
| | 14～22 | 18,500 | 23,200 |
| | 24～28 | 21,000 | 24,600 |
| | 30以上 | — | 26,000 |
| 3m | 7～12 | 12,000 | 17,800 |
| | 13～18 | 13,500 | 22,500 |
| | 20～28 | 18,500 | 28,000 |
| | 30以上 | — | 29,000 |
| 2m | 7～14 | 6,000 | 9,000 |
| | 16～28 | 9,600 | 22,500 |
| 6m | 13～18 | — | 23,200 |
| | 20～28 | — | 22,700 |
| ヒノキ | | | |
| 4m | 7～13 | 23,000 | 33,500 |
| | 14～22 | 29,000 | 35,000 |
| | 24～28 | — | 29,500 |
| 3m | 7～12 | 14,500 | 31,600 |
| | 13～18 | 14,400 | 34,000 |
| | 20～28 | — | 32,300 |
| 6m | 13～18 | 31,900 | 48,000 |

# 申告は正しく、お早めに
## 2月16日から3月15日まで

# 町県民税・所得税

今年も五十九年分の所得税の確定申告と納税、および六十年度町県民税と事業税の申告時期を迎えました。この申告は、皆さんの昨年一年間の所得について行うものです。ただし、給与所得だけの人で、勤務先で年末調整が行われた人などは、一般に申告の必要はありません。

## 町県民税

町県民税は、別名住民税ともいわれ、私たちの最も身近かな税金で、町民生活の向上に直接活用される重要な財源です。今年もこの町県民税の申告時期となりました。

### 申告が必要な人

▽農業や商店などを経営している人（所得の多少にかかわらず申告してください）
▽給料やボーナス以外の所得が、二十万円以下で、確定申告をしない人
▽昨年中に退職した人で、今年一月一日現在就職していない人
▽雑損控除、医療費控除を受けようとする人

### 納税相談のご利用を

申告の期間は、二月十六日(土)から三月十五日(金)までです。
申告の受付けと納税相談を兼ねて、各地域に相談会場を設けていますのでご利用ください。なお、国民健康保険税についても同じ日程で行われます。

## 国民健康保険税

前年中に所得がなかったり、一人暮らしの老人世帯でも申告が義務づけられています。
みんなが使う医療費は、みんなで負担しあうのが保険税です。申告所得が一定金額以下の場合には、保険税が減額されますので、国保世帯は必らず、納税相談期間中に申告してください。

### 申告をすれば税金が戻る人

▽多額の医療費を支払った人
▽火災や風水害、盗難などの被害を受けた人
▽マイホームを建てたか、購入した人
▽年の中途で退職して、その後再就職していないため、年末調整を受けなかった人
▽同族会社の役員やその親族などで、その会社から給与のほかに貸付金の利子、店舗、工場などの賃貸料などの支払いを受けている人

## 所得税

### サラリーマンでも申告が必要な人

▽給与の年間収入が千五百万円を超える人
▽給与所得や退職所得以外の所得の合計が二十万円を超える人
▽二ヵ所以上から給与所得のある人

## 納税相談日程表

町県民税、国民健康保険税

| 月 | 日 | 地区名 午前9:00～12:00 | 地区名 午後1:00～3:00 | 会場 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 18 | 天神・上町 | 村山 | 旧畜産センター |
| | 19 | 昭和 | 冬野 | 〃 |
| | 26 | 下町 | 津留 | 〃 |
| | 27 | 上在 | 横町 | 〃 |
| | 28 | 津留1 | 津留2 | 林業センター |
| 3 | 1 | 野尻1 | 野尻2 | 〃 |
| | 2 | 尾下1 | —— | 〃 |
| | 4 | 旭通 | 森 | 旧畜産センター |
| | 5 | 矢津田 | 中 | 農協草部北部支所 |
| | 6 | 草部(社倉) | 草部(社倉外) | 基幹集落センター |
| | 7 | 芹口 | 下切 | 〃 |
| | 8 | 永野原 | 菅山 | 〃 |
| | 11 | 河原1 | 河原2 尾下2 | 河原公民館 |
| | 12 | 前原・洗川 | 中原・大村 | 農協上色見支所 |
| | 13 | 戸狩・井上山鳥 | 西丁・中園小倉原 | 農協色見支所 |
| | 14 | 上記日程に申告できなかった方<br>野尻地区＝林業センター<br>草部地区＝基幹集落センター | | |
| | 15 | 上記日程に申告できなかった方<br>高森・色見地区＝役場第2会議室 | | |

### 所得税

| 月 | 日 | 地区名 午前9:00～12:00 | 地区名 午後1:00～3:00 | 会場 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 20 | 高森全地区 | | 林業総合センター（役場横） |
| | 21 | | | |
| | 22 | | | |
| | 25 | | | |



# 中央公民館だより

## 将来の農業と私

河原・黒岩　後藤賢治

私は現在農協職員として三年目を迎え、最近の農業情勢を目の当たりにして、今までの方法で続けていて、果たしてよいものだろうかと考えてしまうことがあります。

農協職員として、農家の長男として、自分の置かれている立場を見るとき、どうにかしなければならないのではないかという気持がわいてくるのです。私の地区では高冷地野菜、畜産、それにわずかな水田という、市場価格にその情勢を左右されやすいものばかりで、この不安定な経営の中、それぞれの暮らしを営んで生きていかねばなりません。これから将来この立地条件は変りようもなく、その中で新しい方向へ農業を進めることが大切なのだと思います。

しかし、今の私ではこれといった打開策を見出すことさえできません。無論、かけ出しの私ごときにそう簡単に見つかるはずもなく、ただ手をこまねいて見守る……いいえただ流れのままに流されているだけなのです。

こんな私でも、社会の荒波の中で自分自身を見失わないようしっかりとした目で自分を見つめる、そんな目が欲しいのです。これから長い歳月の中で多くの問題を抱え、悩み苦しみ続けることでしょう。けっして後退することのないように、物事に対して常に前向きに進んでいきたいのです。また、どんなことにも挑戦する気持をいつも絶やさずに、社会人として歩いていきたいと思います。

## 希望と決意胸に
### 新成人の意見発表から

## 自分にチャレンジ

草部・社倉　甲斐由合

「今日から私は大人の仲間入りをしたのだ、自分のやることには責任を持ってチャレンジしてみよう」今までの自分とは少し違った強い意志が生まれてきます。

二十歳という言葉は素敵でもあり、不思議にも感じます。今まで自分自身、身勝手に生きてきたことが反省させられます。今後はどんな問題が起きようと、責任をとり解決するのは、自分自身なのです。他人の手を借りるわけにはいきません。今後も社会人として社会の波にもまれながら成長していこうと思っています。それが自分へのチャレンジにつながるのでしょう。自分に満足することはできなくとも一歩一歩いつも前を見つめて荒波の社会へ飛び込んでいきたいと思います。

## 自分自身の向上を

色見・井上　住吉徳子

看護婦をしていて一番うれしい時は、患者さんの笑顔を見たり「元気になったのはあなたたちのおかげです」と喜んで帰って行かれるときです。しかし、一生懸命やっても報われないときがあります。人の死に直面したときです。

病気のため若くして亡くなられる人もおられます。先輩からこんな話を聞きました。不治の病で死亡した青年から同室の患者さんにあてたメモが病室の隅から見つかり「皆さんの幸せを祈っています。早くよくなってください」と書いてあったそうです。

自分の死期を知っていながら、他人へのいたわりの優しさにひどく感動しました。人を身代りにしてでも自分だけは幸せになりたいと思う人が多い世の中で、とても暖いものを感じました。

私たちが患者さんと接するとき一人対大勢でなく、一人対一人でなければいけないとつくづく思いました。まだまだ勉強することばかりです。日進月歩の医学にとり残されないように、看護の面だけでなく、全ての面で自分自身を向上させたいと思います。

## 三つの信念

高森・旭通り　立山経久

私は現在勤めている会社に入社するにあたり三つの信念を立てました。この信念、成人するにあたっての信念ともいえるものです。まず第一に「努力は報われないこともある」、第二に「不用意に生きるな」、最後に「こけたら立て、立つたら歩け」です。

今日成人式を迎え、改めてこの三つを考え直しています。このことは大きく言えば私の人生の柱だと、常日ごろ自分に言い聞かせてがんばっています。

私達は郷土を愛しています。今後の発展を祈り、これまで両親、先輩、友達などのおかげで成長しました。この〝おかげ〟という気持を忘れてはいけません。今後も若者らしく行動的に、そして〝おかげ〟を忘れずに努力していきます。

# 10年ぶりに的落とし

## □恒例の消防出初め式□

新春恒例の消防出初め式が一月十日高森小学校グラウンドで行われ、塚本団長以下十四分団三百九十九人、高森中学校少年消防隊三十三人と、消防車四台、積載車十二台、小型ポンプ六台が参加しました。

粉雪が舞う天候の中、午前九時爆竹を合図に各分団が入場、町長式辞、団長訓示、来賓祝辞などの後、各分団ごとに瀬井町長の通常点検を受け、午後は別所溜池で、十年ぶりに復活した的落とし競技が行われました。競技は十名の選手が、スタートの合図で消防車、積載車などといっしょに水利地点まで全力疾走。吸水管を投入して三本のホースを延長、クレーン車につり下げられたかごの中のテニスボール二つを落とすまでの時間を競うもので、消防車二十七㌔、積載車二十五㌔、小型ポンプ二十三㌔の高さで行われ、各分団は日ごろの訓練の成果を披露、中には一分を切るチームもありました。成績、表彰関係は次のとおりです。

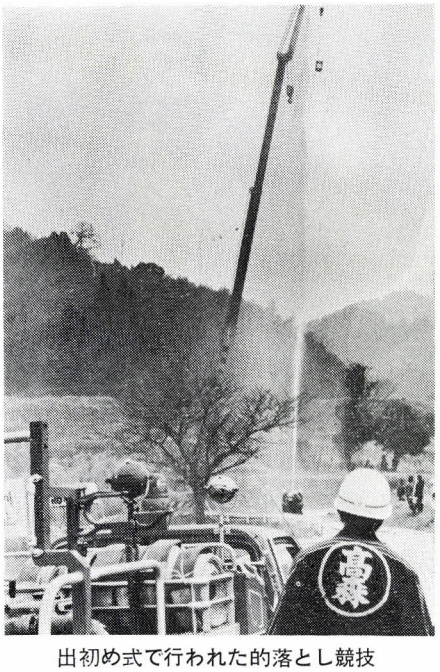
【通常点検】❶第九分団　❷第三分団　❸第六分団

【放水競技】▽消防車＝⑯第八分団一部　❷第一分団一部　▽積載車＝⑬第六分団　❷第五分団　❸第四分団一部　▽小型ポンプ＝❶第二分団二部　❷第八分団二部

【県消防協会長表彰】▽功績章（二十年以上）三森義高、中川久雄、野尻健一、野尻昭敏、戸高秋男　▽勤績章（十五年以上）荒牧久利ほか二十人

【町長表彰】▽勤続章（十年以上）甲斐元紀ほか十三人

【一般表彰】▽退職団員＝宇藤明、本田登　▽用地提供者＝田上吉久郎、田上安盛、西田忠臣、古沢要吉



出初め式で行われた的落とし競技

## 鬼火たきで健康祈る

### 上色見・西中原地区

上色見・西中原地区の鬼火たきが一月七日午前十時から、上色見小学校近くの畑で行われ、約三十人が参加しました。

地区のコミュニケーションづくりの場にしようと四年前から始められたもので、高さ約八㌔の青竹のやぐらに火が入れられると、白い煙を上げて勢いよく燃え上がり、正月のしめ飾りや破魔矢もいっしょに燃され一年の健康を祈りました。

余り火で、ツルノコイモと豆腐の田楽会が開かれ、子供たちは田楽やモチをほおばり、大人もカップ酒を酌み交わしながら、伝統行事を楽しみました。

田楽をほおばる子供たち

## 事故のない郷土づくりを誓う

### 交通安全祈願祭

高森警察署管内の交通安全祈願祭が、一月八日午前十時から高森阿蘇神社で開かれ、警察署、交通安全協会、関係町村、ダンプカー協会などから約百人が参加しました。

神事のあと田代阿蘇南部交通安全協会長、堀本署長、瀬井町長が「地域の交通安全思想の高揚を図り、死亡事故が発生しないよう努力を続けよう」とあいさつ。シートベルト着用の推進など三項目の交通安全宣言をして、事故のない住みよい郷土を作ることを誓いました。

式典の後町村ごとにパレードを行いましたが、本町でも広報車を先頭に交通安全を呼びかけました。

おはらいを受ける参加者

# 大人への旅立ち

## 成人式に129人が参加

新成人で埋った式典会場

成人の日の一月十五日、新成人の門出を祝う式典が林業総合センターで行われました。

今年晴れて大人の仲間入りをしたのは県下で二万五千人、本町では約二百人です。

成人者が生まれた、昭和三十九年、四十年は東京オリンピックが開かれ、東海道新幹線が開業した年でもありました。

式典は午前十時から行われ、帰省した人を含め男五十五人、女七十四人のあわせて百二十九人が参加、高森小学校児童による町歌披露の後、瀬井町長が「成人の日を人生の再出発の日として、自らの道を開拓すると共に、祖先の尊い汗と努力によって残された国土を守り、自然に恵まれたこのふるさとをよりよくするために奮起してください」とはなむけの言葉を送りました。

これを受けて、新成人を代表して佐藤雄一さん（高森・昭和）が「今の感激を生涯忘れることなく、思いやりのある豊かな社会作りのために、また二十年間育ててくれたふるさと発展のために努力します」と誓いの言葉を述べ、続いて後藤賢治さん、住吉徳子さん、立山経久さん、甲斐百合さんの四人が成人としての決意、意見を発表しました。

式典後は町青年団体連絡協議会主催の記念行事が行われ、本町を紹介するスライドを見た後、成人者へのユーモアたっぷりのインタビュー、来賓を交えてのゲームなどを楽しみました。

なお、成人者から記念樹として桜の苗木の目録が町に贈られました。

## くまもと緑の百景
## 十位内に町の緑三つ

「くまもと緑の百景」（熊本県、熊本日日新聞社、熊本放送提唱）の投票が、昨年十月一日から十二月十日まで行われ、本町の高森峠が十一万七千七百十三票で七位に、南阿蘇国民休暇村一帯が十一万五千二百九十八票で九位に、さらに高森阿蘇神社の森が十万七千八百七十九票を集めて十位に選ばれました。

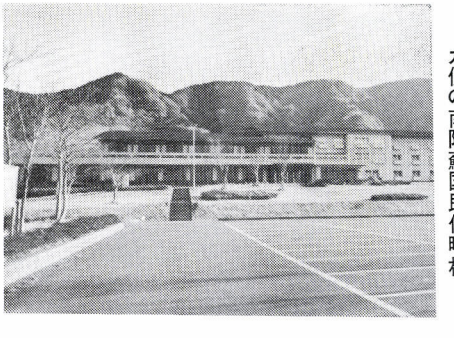
「くまもと緑の百景」は、県民投票で〝ふるさとの自慢の緑〟を選定し、緑の保護と育成に努めようと行われたもので、県下各地から千三百六カ所の緑が投票されました。

結果は一月一日熊本日日新聞紙上で発表されましたが、上位十位までに本町の自慢の緑が三つも選ばれたのは、豊かな自然と、町民の緑に対する関心の高さが伺えます。

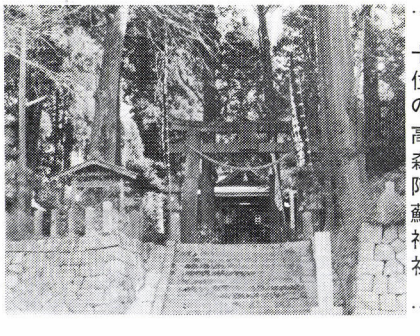
高森峠は、頂上付近の標高約八百㍍、阿蘇五岳と南郷谷の緑のじゅうたんを一望できます。また、千本桜は延長四㌔にわたり、三千本以上の桜が植えてあり、桜の名所として有名です。

南阿蘇国民休暇村は、七十四㌶の敷地を持ち、四方を雄大な草原に囲まれています。

7位の高森峠



九位の南阿蘇国民休暇村



十位の高森阿蘇神社

休暇村から見た根子岳は県下一の名勝となっています。

高森阿蘇神社の境内には六本のナンゴウヒの母樹があり、これは昭和三十年に確認されたもの。社の後方の宮山は明治百年を記念して禁伐林と定められました。